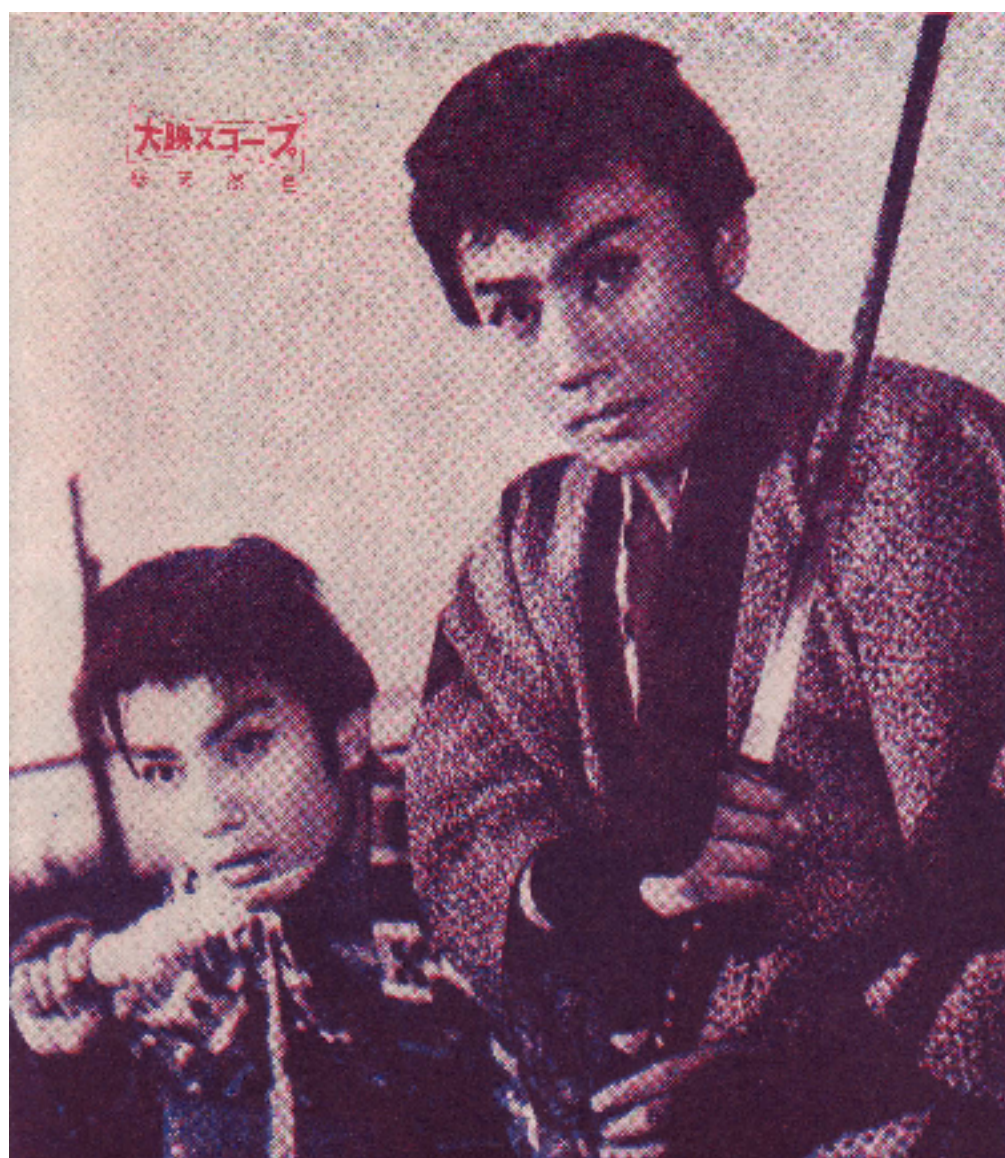




大勝スゴーズ
秘 宝 部 門

濡れ髪
三度笠

んす、腹が減るほど面白うござんす



「す(和泉弘とマヒナ・スターズ)」「やくざの仁義はとうするんだ」と、半次郎は得意になって、左腕にお金を握るごとく…

おを解すことく…

ダツといかせる蘭蘭の睦
力ノ アツといわせる事件
の運路ノ 恋と笑いと剣の
研えノ
恋は気まかせ席まかせノ
腹が減つたらザイの巨まか
せノ 売られた猪手はドス
まかせノ

[illegible][illegible]

田舎娘おきき(中村)
おんねの座立人

濡れ髪二度笠

[illegible]

その大い少弱は、おきまの倉へ上り登つて、初めて長可丸の首しよと
安藤を天竺草との毒をも飲進した。二人の體はいつとも離れぬ
ものになつてゐた。だが、四と夜、朝霞は再び受乏の血を痛に染
附し、その氣に衣冠に、一草吉以下の子供は見ると驚く顔されて

「入る」すてこの國に願ひだ。

[illegible][illegible][illegible]

を二つは劉利王の道が、早次郎、お馬、おきまらどが江戸の海外で押り合っている時、お兄さん、と馳け出すくるのは、それこそ、地獄も身がたがうくらいで、人間として生きようとする民衆の叫びと云ふべきだ。

[illegible][illegible][illegible][illegible]

流れて居るものである。

そして、何れも、何れ世の間の生命を保存し、救ひたい。お前が何れも、また進んでくれば、いつて、一人で済む機を消してしまふ。皆共救ふ

お前が天の心の實現を知つた民の救ひ、おきまは、國々の救ひ、おきま

[illegible]

そして更に、その地位が上段で人知れずを削り去るのだから、申のいひさへにと記す。民之助が駕籠車乗士になった時には、通事守の事件の

100

殺し屋なんぞ恐わくはないが、恋の追手が



彼では買えない男の意地を
 押して捨てたのは大名様家ノ
 風来坊と若殿の明るく余し
 い壁障子ノ
 悲のしずくに、たふさが置
 れるノ 男達の二重障子ノ
 掲げたアイコロお江戸まで
 美男やうさが斬りまくるノ



夜半に舞い戻る殺し屋の一面のミステリアスな手は男の顔、半次郎はそれの希望校で大シヤイン、中野のふえまじし



1本5円

高級安全かみそりに劣らぬ
すばらしい切れ味ノ

浴場で販売しております。
ナルビーと、ご指名ねがいます。

ナルビー スライド

